

審判長注意

競漕規則より、おもなものを取り上げる。各団体で事前に周知しておくこと。

- 1 安全のために、すべてのレース艇はバウボール、ヒールロープを取り付けること。
- 2 出漕するクルー全員は、救命具（ライフジャケット・ライフポーチ等）を着用すること。
ただし、レース時および練習水域においては常に救助艇の監視下にあるため、一般・高校生については着用は各チームの判断とし、小・中学生については全員必ず着用すること。
なお、落水の際は即救助する。また、予備の救命具については必要ないものとする。
※本大会独自ルール
- 3 クルーは統一されたユニフォームを着用すること。また、出漕するクルー全員は、あらかじめ届け出た、クルー内で統一されたブレードカラー、デザイン、マークのオールを使用しなければならない。
- 4 舵手の最低体重は男子種目 55kg、女子種目 50kgとし、それを満たさない場合は艇内の最も近い場所に最大 15kg のデッドウェイトを置いて出漕することができる。ただし、中学生、オデッセイ種目については規定を設けない。
- 5 舵手計量は、出漕種目ごとに各自の最初のレースの2時間前から1時間前の間に行う。ただし、中学生、オデッセイ種目については行わない。
- 6 クルーメンバーの変更、棄権、ユニフォーム・ブレードの不統一などは、そのクルーの大会最初のレース発艇定刻1時間前までに大会本部に届け出ること。
※本大会については「口頭」での届け出とする。
- 7 回漕クルーは航行ルールを守り、レースの100m手前からレース通過まで停止しなければならない。また、スタートライン、フィニッシュラインの延長線上で停止してはならない。
- 8 次のレースに出漕するクルーは、発艇員からの呼び込みに従って割り当てられたレーンに入る。そして、発艇定刻2分前までに所定のスタート位置に着かなければならない。
- 9 やむを得ない理由により遅延するクルーは、あらかじめ最寄りの審判員に申し述べ、審判長の許可を得なければ失格とする。
※「失格」…対象となったクルーは、レースに参加できない。そのクルーのメンバーについても、その大会の出場資格を失う。順位はつかない。
- 10 発艇（スタート）の合図は、バウナンバー順に出漕クルーの名前が呼ばれ（ロールコール）、次に「attention（アテンション）」の予令後、明瞭な間において発艇旗が掲げられ、その後「go（ゴー）」の発艇（スタート）号令と同時に発艇旗が振りおろされる。

※発艇旗は信号の場合もある。漕手は号令が聞き取りにくい場合もあるため、旗が動く、信号が変わる瞬間に発艇（スタート）すること。

- 1 1 同一競漕で2度不正スタート（回漕中に警告を受けた場合は1度）を犯したクルーは、その競漕から**除外**する。
※「除外」…対象となった（レッドカードを受けた）クルーは、それ以降のその種目のすべてのレースに参加できない。順位はつかない。
- 1 2 レース中、各クルーは自己のレーンを漕行しなければならず、他のレーンに侵入し、接触または妨害してはならない。
- 1 3 レース中、クルーが相手レーンに侵入し、接触・妨害など自己を有利にする可能性がある場合には、主審により白旗にて警告が与えられる。ただし、進路・操舵に関する指示は与えられない。
※本大会では、危険を回避するために、指示を与える場合がある。
- 1 4 レースに参加した全艇がフィニッシュラインに到達した後、クルーからの異議申立もなく、そのレースが正常に行われたと認められたときは、主審は遅滞なく白旗を掲げて、その旨を全クルーと判定員に知らせなければならない。各クルーは、白旗が掲げられるまでフィニッシュエリア内に留まっていなければならない。
- 1 5 いかなるクルーも、定員を欠いてレースに参加することはできない。
※本大会では安全のため、落水があった場合は救助するものとする。
- 1 6 クルー関係者は、次にあげる行為を行ってはならない。
 - (1) レースに参加するために出艇する艇内に無線通信機や携帯電話機等の通信機器類を持ち込むこと
 - (2) 水の自然物性・水質または水と船体の境界面の物性を変えるような物質または構造の使用
 - (3) 各種検査、検量、テストの拒否、妨害、陥れ
- 1 7 すべての競技者は公正に競技し、競技参加者と大会役員、競技スタッフ等に敬意をもって接しなければならず、レース・スケジュール通りにスタートし、水上でも陸上でも、大会役員の指示に従わなければならない。